

「認知症における社会的な生活障害の実態調査」について

2017年5月8日

研究責任者:きのこエスポアール病院 副院長

岡山県認知症疾患医療センター長

横田 修

認知症本人や家族が実際に苦悩しているのは精神症状や中核症状というよりは、社会性生活障害によるトラブル(生活支障)です。私たちはその観点から現状を明らかにすることを目的として調査を行います。これは岡山大学精神科での調査の共同研究として行われます。本研究は岡山大学の倫理委員会と当院の倫理委員会で承認されています。対象となる患者さんの病院のID、氏名、住所、電話番号などの情報が外部に出されることはなく、その他の個人情報もプライバシーに十分配慮して扱われます。またこの研究の結果は氏名・生年月日などの個人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表されます。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

2017年1月から2017年12月までに、岡山県・岡山市の認知症疾患医療センターを受診し、詳細な検査を受けた新患患者のうち、認知症あるいは軽度認知障害の診断を受けた患者さん

2. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、使用薬剤の内容、副作用等の発生状況 等

3. 研究期間

2017年1月1日から2017年12月31日

4. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者: (氏名) 横田 修 (所属) きのこエスポアール病院

電話番号: 0865-63-0727 (代) 住所: 〒714-0071 岡山県笠岡市東大戸2908